

レジメンcode:	C50-40	備考
適応がん種:	乳癌	
レジメン名:	Pembrolizumab+wPTX+wCBDCA(術前薬物療法)	
間隔:	3週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	キイトルーダ	200	mg/body	点滴(30分)	d1
PTX	パクリタキセル	80	mg/m ²	点滴(1時間)	d1、8、15
CBDCA	カルボプラチン	1.5	AUC	点滴(1時間)	d1、8、15

* 4コース実施後、C50-41:Pembrolizumab+AC へ移行する

day1【ケモセーフ使用】

1) 生食	50ml	1 本	ルート確保		
2) キイトルーダ		200 mg/body			
生食	50ml	1 本			
	主管①	点滴	30分	インラインフィルター必須	
3) 生食	50ml	1 本			
	主管②	点滴	15分	フラッシュ用	
4) ガスター	20mg	1 A			
デキサート	6.6mg	1 V			
デキサート	3.3mg	1 A			
ポララミン	5mg	1 A			
生食	50ml	1 本			
	主管③	点滴	15 分		
5) パロノセトロン	0.75mg	1 V			
生食	50ml	1 本			
	主管④	点滴	30 分		
6) パクリタキセル(タキソール)		80 mg/m ²	【ケモセーフ使用】		
ブドウ糖液5%	250ml	1 袋			
	主管⑤	点滴	1時間	インラインフィルター必須	
7) カルボプラチン(パラプラチン)		1.5 AUC	【ケモセーフ使用】		
生食	250ml	1 袋			
	主管⑥	点滴	1時間		
8) 生食	50ml	1 本			
			フラッシュ		

〈所要時間 約4時間〉

次ページあり

day8、15【ケモセーフ使用】

1) ガスター	20mg	1 A	
デキサート	6.6mg	1 V	
デキサート	3.3mg	1 A	
ポララミン	5mg	1 A	
生食	50ml	1 本	
	主管①	点滴	15 分
2) パロノセトロン	0.75mg	1 V	
生食	50ml	1 本	
	主管②	点滴	30 分
3) パクリタキセル(タキソール)		80 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
ブドウ糖液5%	250ml	1 袋	
	主管③	点滴	1時間 インラインフィルター必須
4) カルボプラチン(パラプラチン)		1.5 AUC	【ケモセーフ使用】
生食	250ml	1 袋	
	主管④	点滴	1時間
5) 生食	50ml	1 本	
			フラッシュ

〈所要時間 約3時間30分〉

【文献】

国際共同第Ⅲ相試験 (KEYNOTE-522試験) NEJM2022;386:556-567 (PMID:35139274)

【適応】

*ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスク(*1)の乳癌における術前・術後薬物療法

(*1): 術前薬物療法を開始する前に、画像診断又は臨床診断によりTNM分類でT1cかつN1~2
又はT2~4かつN0~2に該当する遠隔転移を有しない患者

*PD-L1発現の有無は問わない。

*甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に内分泌機能検査を実施すること。

◎検査セット登録あり: 場所 カルテ→(検体)→(特殊セット)→(免疫チェックポイント初回)(免疫チェックポイント2回目~)

*インラインフィルター(0.2~5μm)を使用する。(キイトルーダ、パクリタキセル)

*調製時、又は希釈後に振盪により微粒子が生成される可能性があるため、バイアルは振盪せず、激しく攪拌しない。

*生食又は5%ブドウ糖に溶解する。同一点滴ラインを使用して他の薬剤を併用同時投与しない。

*希釈後、25℃以下で6時間以内または2~8℃で合計96時間以内に使用する。

*有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連など)対処アルゴリズムを参照する。

*臨床試験での検査スケジュール、投与延期または休薬基準を参照する。